

ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第4期

(決算日 2020年6月10日)

(作成対象期間 2019年12月11日~2020年6月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	約5年間(2018年6月11日~2023年6月9日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>

<2753>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率			
1 期末(2018年12月10日)	円 9,098	円 0	% △ 9.0	9,229	% △7.7	% -	% 99.0	百万円 13,775
2 期末(2019年 6 月10日)	10,363	50	14.5	10,074	9.2	-	99.6	14,378
3 期末(2019年12月10日)	10,798	150	5.6	10,943	8.6	-	99.1	9,894
4 期末(2020年 6 月10日)	11,330	100	5.9	10,950	0.1	-	99.1	9,116

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

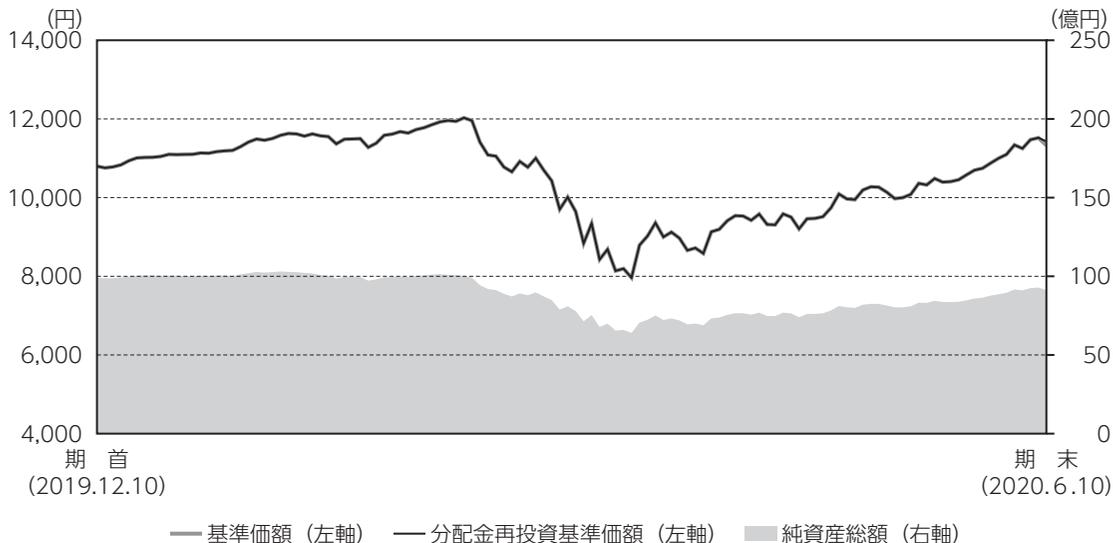
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,798円

期末：11,330円（分配金100円）

騰落率：5.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主に米国の保有銘柄の株価が総じて上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2019年12月10日	10,798	% -	10,943	% -	% -	% 99.1
12月末	11,128	3.1	11,342	3.7	-	99.2
2020年 1 月末	11,499	6.5	11,328	3.5	-	99.4
2 月末	10,778	△ 0.2	10,474	△ 4.3	-	98.9
3 月末	9,123	△15.5	8,962	△18.1	-	99.4
4 月末	10,092	△ 6.5	9,935	△ 9.2	-	99.5
5 月末	10,746	△ 0.5	10,296	△ 5.9	-	99.1
(期末) 2020年 6 月10日	11,430	5.9	10,950	0.1	-	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.11～2020.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、変動の激しい展開となりました。

グローバル株式市場は、当作成期首より2020年1月にかけて、FRB（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったことや、企業の決算発表が予想を上回る結果となったこと、米中が貿易交渉の第1段階で合意したことなどにより、上昇しました。しかし1月下旬より、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大すると下落に転じました。2月には、新型コロナウイルスの流行が中国以外の国々にまで拡大し、3月には多くの国でロックダウン（都市封鎖）措置が取られました。これにより経済活動が大幅に制限され、グローバル株式市場は大きく下落しました。4月に入ると米国を中心に株式市場は大きく反発しました。各国でロックダウン解除に向けた動きが始まったことや、主要中央銀行による金融緩和政策、各国政府の緊急経済政策などが株式市場を支えました。5月以降は、各国がロックダウン措置を徐々に緩和したことから経済活動再開への期待感が高まり、グローバル株式市場は堅調に推移しました。世界的に、感染拡大によるライフスタイルの変化等による恩恵が期待される、フィンテック関連銘柄が選好されました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.11～2020.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、業界をリードするオンライン決済サービスを提供する米国のビザやペイパル・ホールディングスなど、「フィンテック技術基盤」では、セキュリティソフトウェアを提供する米国のパロアルトネットワークスなど、「次世代金融リーダー」では、オンライン金融サービスを提供し顧客満足度を高めているイタリアのフィネコバンクなどを組み入れました。当作成期中には、株価下落局面を捉えて割安になった英国のロンドン証券取引所を新たに組み入れました。また、株式市場の回復に伴い、ロックダウン（都市封鎖）の影響を強く受けるとみられる業界に顧客を多く持つ米国の決済会社フリートコア・テクノロジーズ、米国のソフトウェア企業スクエアの株式を全売却しました。

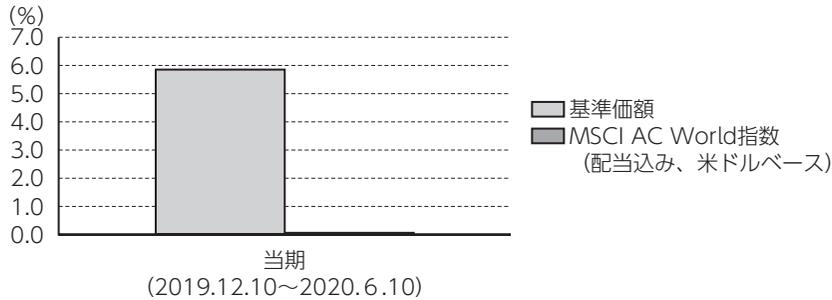
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年12月11日 ～2020年6月10日	
当期分配金（税込み） (円)	100	
対基準価額比率 (%)	0.87	
当期の収益 (円)	100	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,382	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 625.69
(c) 収益調整金	96.55
(d) 分配準備積立金	760.26
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,482.51
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,382.51

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

多くの先進国がロックダウン（都市封鎖）措置を緩和し始め、これまでのところ経済活動再開がおおむね順調に進んでいるものの、景気回復の時期や今後の見通しは依然として不透明です。しかし、世界主要国の中央銀行や政府が経済を下支えするために、前例のない金融政策や財政政策を迅速に打ち出したことは、経済への二次的な影響を大きく軽減させると考えられます。当面の間、市場の変動性が高い状態は続くと思われるものの、景気の見通しがより明らかになり市場が本格的に回復するまで、金融政策が市場全般を支え続けると考えています。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.12.11~2020.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	65円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,506円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	65	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

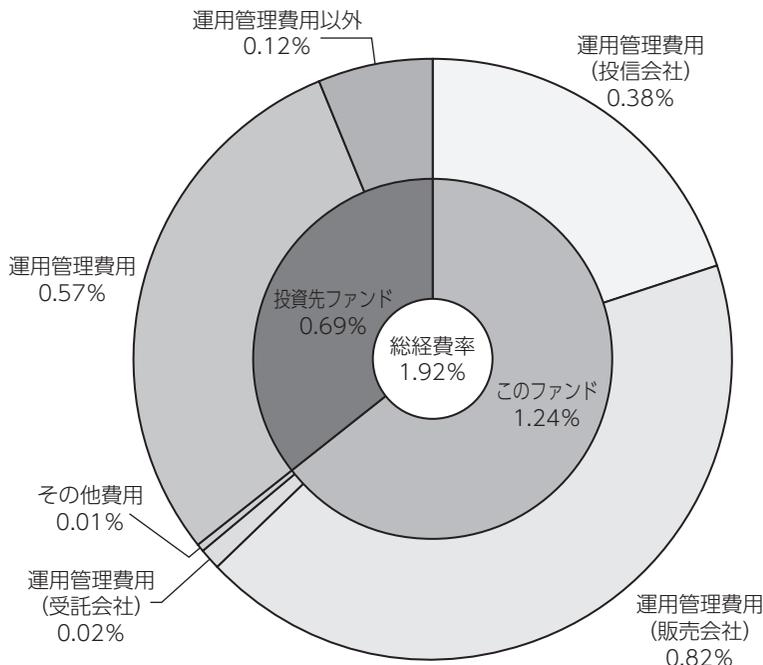
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (①+②+③)	1.92%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年12月11日から2020年6月10日まで）

国	買付	付		付	
		数	金額	数	金額
内	千口	千円	千口	千円	
	72,180.809	80,000	1,251,185.396	1,460,000	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口数	評価額	比率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	7,581,653.046	9,037,330	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	当 期 末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月10日現在

項目	当 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	9,037,330	96.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	305,122	3.3
投資信託財産総額	9,342,454	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月10日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	9,342,454,028円
コール・ローン等	285,122,599
投資信託受益証券(評価額)	9,037,330,430
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
未収入金	20,000,000
(B) 負債	225,812,895
未払収益分配金	80,467,519
未払解約金	90,568,137
未払信託報酬	54,411,534
その他未払費用	365,705
(C) 純資産総額(A - B)	9,116,641,133
元本	8,046,751,985
次期繰越損益金	1,069,889,148
(D) 受益権総口数	8,046,751,985口
1万口当り基準価額(C/D)	11,330円

*期首における元本額は9,164,090,849円、当作成期間中における追加設定元本額は520,096,162円、同解約元本額は1,637,435,026円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,330円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月11日 至2020年6月10日

項目	当 期
(A) 配当等収益	△ 25,427円
受取利息	2,307
支払利息	△ 27,734
(B) 有価証券売買損益	558,302,629
売買益	660,346,333
売買損	△ 102,043,704
(C) 信託報酬等	△ 54,777,343
(D) 当期損益金(A + B + C)	503,499,859
(E) 前期繰越損益金	611,721,222
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	35,135,586 (77,699,098)
(売買損益相当額)	(△ 42,563,512)
(G) 合計(D + E + F)	1,150,356,667
(H) 収益分配金	△ 80,467,519
次期繰越損益金(G + H)	1,069,889,148
追加信託差損益金 (配当等相当額)	35,135,586 (77,699,098)
(売買損益相当額)	(△ 42,563,512)
分準準備積立金	1,034,778,989
繰越損益金	△ 25,427

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	503,480,364
(c) 収益調整金	77,699,098
(d) 分配準備積立金	611,766,144
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,192,945,606
(f) 分配金	80,467,519
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,112,478,087
(h) 受益権総口数	8,046,751.985口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率			
1 期末(2018年12月10日)	円 9,250	円 0	% △ 7.5	9,491	% △5.1	% -	% 99.0	百万円 82,127
2 期末(2019年 6 月10日)	10,279	50	11.7	9,992	5.3	-	99.3	83,535
3 期末(2019年12月10日)	10,777	150	6.3	10,869	8.8	-	98.6	61,678
4 期末(2020年 6 月10日)	11,273	100	5.5	10,788	△0.7	-	99.4	55,312

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

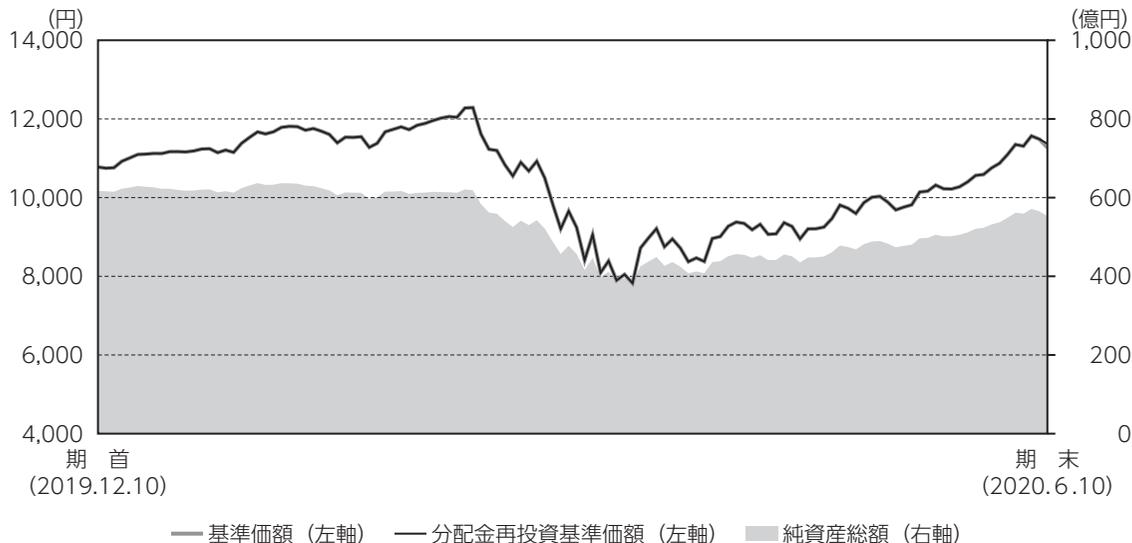
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,777円

期末：11,273円（分配金100円）

騰落率：5.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主に米国の保有銘柄の株価が総じて上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期首) 2019年12月10日	円 10,777	% -	10,869	% -	% -	% 98.6
12月末	11,243	4.3	11,358	4.5	-	99.3
2020年 1 月末	11,548	7.2	11,291	3.9	-	99.4
2 月末	10,836	0.5	10,476	△ 3.6	-	99.3
3 月末	8,948	△17.0	8,914	△18.0	-	99.5
4 月末	9,810	△ 9.0	9,704	△10.7	-	99.4
5 月末	10,588	△ 1.8	10,119	△ 6.9	-	99.0
(期末) 2020年 6 月10日	11,373	5.5	10,788	△ 0.7	-	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.11～2020.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、変動の激しい展開となりました。

グローバル株式市場は、当作成期首より2020年1月にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったことや、企業の決算発表が予想を上回る結果となったこと、米中が貿易交渉の第1段階で合意したことなどにより、上昇しました。しかし1月下旬より、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大すると下落に転じました。2月には、新型コロナウイルスの流行が中国以外の国々にまで拡大し、3月には多くの国でロックダウン（都市封鎖）措置が取られました。これにより経済活動が大幅に制限され、グローバル株式市場は大きく下落しました。4月に入ると米国を中心に株式市場は大きく反発しました。各国でロックダウン解除に向けた動きが始まったことや、主要中央銀行による金融緩和政策、各国政府の緊急経済政策などが株式市場を支えました。5月以降は、各国がロックダウン措置を徐々に緩和したことから経済活動再開への期待感が高まり、グローバル株式市場は堅調に推移しました。世界的に、感染拡大によるライフスタイルの変化等による恩恵が期待される、フィンテック関連銘柄が選好されました。



■為替相場

主要通貨の対円相場は、まちまちの動きとなりました。

主要通貨の対円為替相場は、当作成期首より2020年1月は、欧米金利の上昇や米中通商協議の進展期待から、主要通貨に対して総じて緩やかな円安傾向となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に株式市場が下落するなど、リスク回避姿勢の高まりを受けていったん円全面高となったものの、欧米で感染拡大が収束に向かうと円安が進行しました。米国よりも欧州主要都市の感染が着実に収束したことから、ユーロの上昇幅が大きくなりました。当作成期末は、当作成期首と比べて米ドル円はやや下落、ユーロ円は上昇するなど、主要通貨の対円相場はまちまちの動きとなりました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.11~2020.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

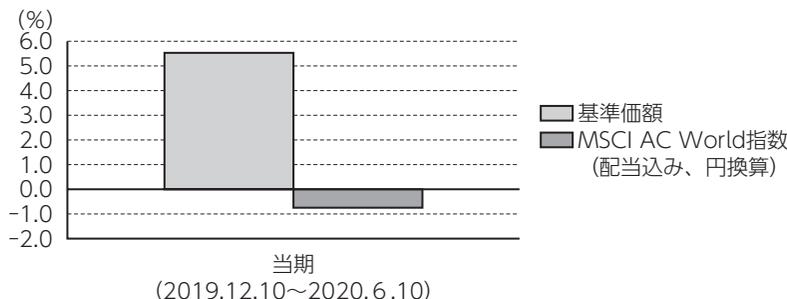
当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、業界をリードするオンライン決済サービスを提供する米国のビザやペイパル・ホールディングスなど、「フィンテック技術基盤」では、セキュリティソフトウェアを提供する米国のパロアルトネットワークスなど、「次世代金融リーダー」では、オンライン金融サービスを提供し顧客満足度を高めているイタリアのフィネコバンクなどを組み入れました。当作成期には、株価下落局面を捉えて割安になった英国のロンドン証券取引所を新たに組み入れました。また、株式市場の回復に伴い、ロックダウン（都市封鎖）の影響を強く受けるとみられる業界に顧客を多く持つ米国の決済会社フリートコア・テクノロジーズ、米国のソフトウェア企業スクエアの株式を全売却しました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年12月11日 ～2020年6月10日	
当期分配金（税込み） (円)	100	
対基準価額比率 (%)	0.88	
当期の収益 (円)	100	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,280	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 596.46
(c) 収益調整金	81.09
(d) 分配準備積立金	703.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,380.69
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,280.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

多くの先進国がロックダウン（都市封鎖）措置を緩和し始め、これまでのところ経済活動再開がおおむね順調に進んでいるものの、景気回復の時期や今後の見通しは依然として不透明です。しかし、世界主要国の中央銀行や政府が経済を下支えするために、前例のない金融政策や財政政策を迅速に打ち出したことは、経済への二次的な影響を大きく軽減させると考えられます。当面の間、市場の変動性が高い状態は続くと思われるものの、景気の見通しがより明らかになり市場が本格的に回復するまで、金融政策が市場全般を支え続けると考えています。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.12.11~2020.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,431円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

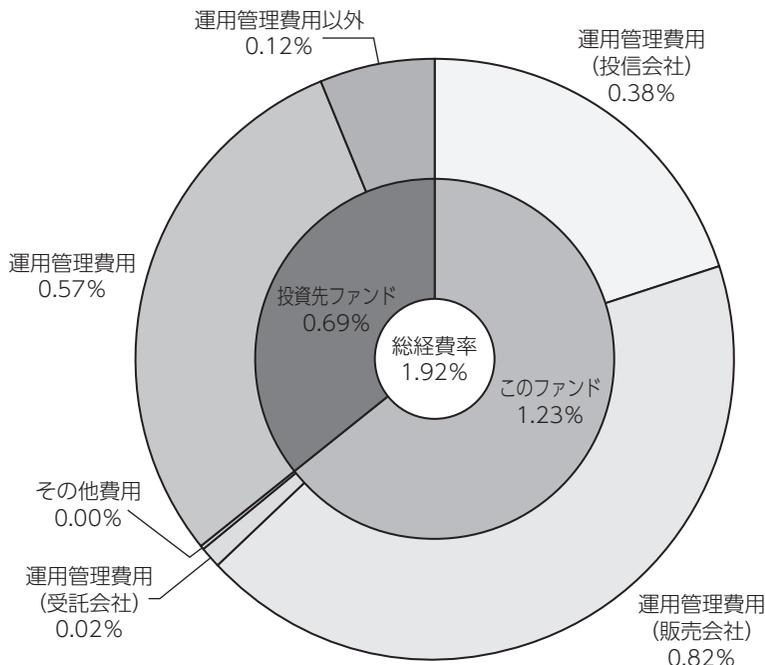
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (①+②+③)	1.92%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年12月11日から2020年6月10日まで）

国	買付	付		付	
		口数	金額	口数	金額
内	千口	千円	千口	千円	
アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし） （適格機関投資家専用）	727,019.91	780,000	8,835,982.002	10,280,000	

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口数	評価額	比率
国内投資信託受益証券 アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし） （適格機関投資家専用）	千口 46,450,294.992	千円 54,983,214	% 99.4

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	当 期 末		
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月10日現在

項目	当 期 末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 54,983,214	% 96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	1,846,580	3.2
投資信託財産総額	56,829,796	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月10日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	56,829,796,066円
コール・ローン等	1,786,580,885
投資信託受益証券(評価額)	54,983,214,182
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
未収入金	60,000,000
(B) 負債	1,516,983,975
未払収益分配金	490,674,872
未払解約金	695,076,407
未払信託報酬	330,145,477
その他未払費用	1,087,219
(C) 純資産総額(A - B)	55,312,812,091
元本	49,067,487,261
次期繰越損益金	6,245,324,830
(D) 受益権総口数	49,067,487,261口
1万口当り基準価額(C/D)	11,273円

* 期首における元本額は57,232,845,741円、当作成期間中における追加設定元本額は3,533,592,975円、同解約元本額は11,698,951,455円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,273円です。

■損益の状況

当 期 自2019年12月11日 至2020年6月10日

項目	当 期
(A) 配当等収益	△ 155,788円
受取利息	15,803
支払利息	△ 171,591
(B) 有価証券売買損益	3,258,169,037
売買益	4,155,105,516
売買損	△ 896,936,479
(C) 信託報酬等	△ 331,233,277
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,926,779,972
(E) 前期繰越損益金	3,449,877,098
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	359,342,632 (397,919,447)
(売買損益相当額)	(△ 38,576,815)
(G) 合計(D + E + F)	6,735,999,702
(H) 収益分配金	△ 490,674,872
次期繰越損益金(G + H)	6,245,324,830
追加信託差損益金 (配当等相当額)	359,342,632 (397,919,447)
(売買損益相当額)	(△ 38,576,815)
分派準備積立金	5,886,137,986
繰越損益金	△ 155,788

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,926,694,621
(c) 収益調整金	397,919,447
(d) 分配準備積立金	3,450,118,237
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	6,774,732,305
(f) 分配金	490,674,872
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	6,284,057,433
(h) 受益権総口数	49,067,487,261口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年6月10日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年12月11日～2020年6月10日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年6月10日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

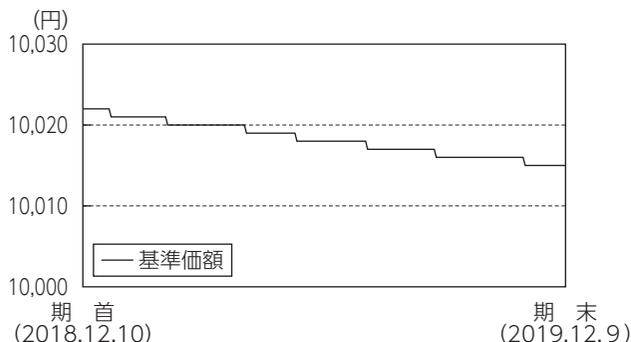
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 250,003		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A - B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当たり基準価額(C / D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解除元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年(2023年6月8日まで)	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(以下、「マザーファンド」)の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式(DR(預託証券))を含みます。以下同じ。)および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式(DR(預託証券))を含みます。)に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。</p> <p>※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>
	<p>3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	<p>4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
マザーファンドの運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p>	
	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	<p>①分配対象額の範囲内は繰越分を含めた利益、配当等収益と売買益(繰越欠損補填後、評価損益を含む)等の金額とします。</p> <p>②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の配分金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし/為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書 (全体版)

第4期(決算日 2020年5月11日)

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、このたび第4期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白田1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00(土日祭日を除く)

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2018年6月12日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 16,658
1期(2018年11月12日)	9,694	0	△3.1	93.8	80,568
2期(2019年5月10日)	10,385	0	7.1	96.6	83,100
3期(2019年11月11日)	11,018	0	6.1	97.0	67,521
4期(2020年5月11日)	10,397	0	△5.6	94.3	48,595

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2019年11月11日	円 11,018	% —	% 97.0
11月末	11,444	3.9	93.4
12月末	11,640	5.6	93.9
2020年1月末	11,970	8.6	94.2
2月末	11,236	2.0	94.3
3月末	9,277	△15.8	96.8
4月末	10,186	△7.6	95.1
(期 末) 2020年5月11日	10,397	△5.6	94.3

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2018年6月12日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 3,827
1期(2018年11月12日)	9,459	0	△ 5.4	94.4	13,824
2期(2019年5月10日)	10,401	0	10.0	94.5	14,586
3期(2019年11月11日)	11,039	0	6.1	97.3	10,516
4期(2020年5月11日)	10,697	0	△ 3.1	89.4	8,199

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	
		騰 落 率	株 組 入 比 率
(期 首) 2019年11月11日	円 11,039	% —	% 97.3
11月末	11,425	3.5	93.7
12月末	11,544	4.6	94.0
2020年1月末	11,944	8.2	93.6
2月末	11,198	1.4	91.8
3月末	9,479	△14.1	92.0
4月末	10,502	△ 4.9	89.6
(期 末) 2020年5月11日	10,697	△ 3.1	89.4

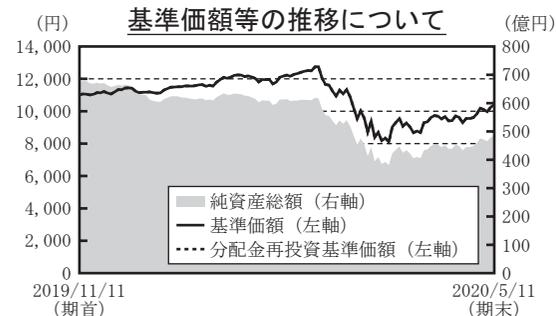
(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

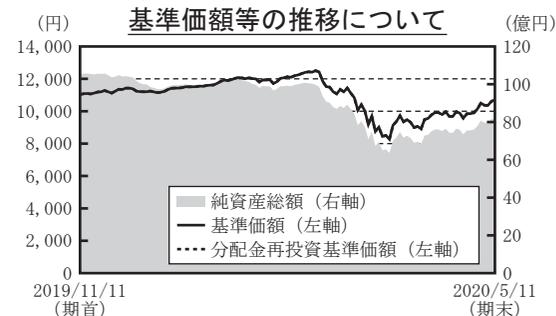
■当期の運用状況（2019年11月12日～2020年5月11日）

為替ヘッジなし



期首：11,018円
 期末：10,397円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰落率：△5.6%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期首：11,039円
 期末：10,697円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰落率：△3.1%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、米国と日本の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となったものの、欧州とアジア・オセアニアの保有銘柄の株価が下落したことや円高がマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

○為替ヘッジあり

当期は、米国と日本の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となったものの、欧州とアジア・オセアニアの保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、変動の激しい展開となりました。12月末までは、米中貿易摩擦や世界経済に対する先行き不透明感がみられたものの、米国の強い経済に牽引され、株式市場は堅調に推移しました。1月の後半に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、2月には韓国、イランイタリアで急速に広がりを見せたため、その経済への影響が懸念され、各国の株式市場は下落しました。3月にはさらに感染が拡大し、多くの国でロックダウン（都市封鎖）措置が取られました。これにより経済活動が大幅に制限され、グローバル株式市場は記録的な下げ相場となりました。4月には一転、米国を中心に株式市場は大きく反発しました。5月中に多くの国でロックダウン措置が段階的に緩和されると予想されること、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬開発、主要中央銀行による金融緩和策、各国政府の緊急経済政策などが株式市場を支えました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には106円台となり、ユーロ・円レートは期初の120円台から期末には116円台となりました。

当期は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大が世界経済へ及ぼす影響が懸念され、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり円高となりました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではペイパルやビザのような大型株からフィネコ・バンク、プルーフポイントなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、スペインのサンタンデル銀行、南アフリカの銀行キャピテック・バンク・ホールディングスを新規に組み入れました。また、スイスのバンキングシステム向けソフトウェア企業テメノス、米国のクラウドアプリケーションを提供する企業ワークデイ、米国の資産運用会社ブラックロックを再び組み入れました。期の後半には、株価下落局面をとらえて割安になった英国のロンドン証券取引所を新たに組み入れ、ロックダウンの影響を強く受けるとみられる業界に顧客を多く持つ米国の決済会社フリートコア・テクノロジーズ、米国のソフトウェア企業スクエアを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

		第4期
		2019年11月12日～2020年5月11日
当期分配金		—
(対基準価額比率)		—%
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		1,100

- (注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第4期
		2019年11月12日～2020年5月11日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		1,136

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年11月12日～2020年5月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.285%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,860円です。
（投 信 会 社）	(30)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.047	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(5)	(0.047)	
そ の 他 費 用	2	0.014	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.013)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	38	0.346	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■ 売買及び取引の状況（2019年11月12日～2020年5月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	—	—	14,597,096	16,760,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2019年11月12日～2020年5月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	52,557,142千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	60,879,223千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年11月12日～2020年5月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2019年11月12日～2020年5月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年5月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 60,952,473	千口 46,355,376	千円 48,571,163

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	48,571,163	99.6
コール・ローン等、その他	183,433	0.4
投資信託財産総額	48,754,596	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（54,120,846千円）の投資信託財産総額（56,398,480千円）に対する比率は、96.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.95円、1香港ドル=13.80円、1シンガポールドル=75.67円、1英ポンド=132.85円、1スイスフラン=110.20円、1ノルウェークローネ=10.44円、100インドネシアルピア=0.71円、1南アフリカランド=5.83円、1ユーロ=116.00円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	48,754,596,802円
コール・ローン等	133,433,176
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	48,571,163,626
未 収 入 金	50,000,000
(B) 負 債	159,035,346
未 払 信 託 報 酬	158,439,017
そ の 他 未 払 費 用	596,329
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	48,595,561,456
元 本	46,740,558,699
次 期 繰 越 損 益 金	1,855,002,757
(D) 受 益 権 総 口 数	46,740,558,699口
1万口当り基準価額(C/D)	10,397円

1. 期首元本額 61,284,848,343円
 期中追加設定元本額 131,212,953円
 期中一部解約元本額 14,675,502,597円
2. 1口当たり純資産額 1.0397円

■損益の状況

当期(自 2019年11月12日 至 2020年5月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 9,253円
受 取 利 息	1,226
支 払 利 息	△ 10,479
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,728,120,513
売 買 損 益	954,238,434
売 買 損 益	△3,682,358,947
(C) 信 託 報 酬 等	△ 159,037,269
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△2,887,167,035
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,041,044,839
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 298,875,047
(配 当 等 相 当 額)	(46,272,696)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 345,147,743)
(G) 計 (D+E+F)	1,855,002,757
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,855,002,757
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 298,875,047
(配 当 等 相 当 額)	(46,408,784)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 345,283,831)
分 配 準 備 積 立 金	5,095,486,182
繰 越 損 益 金	△2,941,608,378

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(54,441,343円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46,408,784円)および分配準備積立金(5,041,044,839円)より分配対象収益は5,141,894,966円(10,000口当たり1,100.09円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年11月12日～2020年5月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.285%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,937円です。
（投 信 会 社）	(30)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.046	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(5)	(0.046)	
そ の 他 費 用	2	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.013)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	38	0.351	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■ 売買及び取引の状況（2019年11月12日～2020年5月11日）

(1) 為替先渡取引

種 類	当 期
	取 引 契 約 金 額
直 物 為 替 先 渡 取 引	百万円 50

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	—	—	2,107,004	2,440,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2019年11月12日～2020年5月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	52,557,142千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	60,879,223千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年11月12日～2020年5月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2019年11月12日～2020年5月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年5月11日現在）

(1) 為替先渡取引

種 類	取 引 契 約 残 高
	当 期 末 想 定 元 本 額
直 物 為 替 先 渡 取 引	百万円 △70

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 9,529,327	千口 7,422,322	千円 7,777,109

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	7,777,109	94.2
コーラル・ローン等、その他	482,640	5.8
投資信託財産総額	8,259,750	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（54,120,846千円）の投資信託財産総額（56,398,480千円）に対する比率は、96.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.95円、1香港ドル=13.80円、1シンガポールドル=75.67円、1英ポンド=132.85円、1スイスフラン=110.20円、1ノルウェークローネ=10.44円、100インドネシアルピア=0.71円、1南アフリカランド=5.83円、1ユーロ=116.00円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	15,672,457,752円
コーラル・ローン等	432,752,368
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	7,777,109,818
未 収 入 金	7,462,595,566
(B) 負 債	7,472,840,892
未 払 金	7,426,353,178
未 払 解 約 金	19,999,999
未 払 信 託 報 酬	25,857,089
そ の 他 未 払 費 用	630,626
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,199,616,860
元 本	7,665,119,972
次 期 繰 越 損 益 金	534,496,888
(D) 受 益 権 総 口 数	7,665,119,972口
1万口当り基準価額(C/D)	10,697円

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 期首元本額 | 9,526,808,751円 |
| 期中追加設定元本額 | 10,103,052円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,871,791,831円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1.0697円 |

■損益の状況

当期（自 2019年11月12日 至 2020年5月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 9,150円
受 取 利 息	577
支 払 利 息	△ 9,727
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△235,229,273
売 買 益	684,337,621
売 買 損	△919,566,894
(C) 先 物 取 引 等 損 益	1,174,887
取 引 益	19,392,247
取 引 損	△ 18,217,360
(D) 信 託 報 酬 等	△ 26,488,646
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△260,552,182
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	858,896,099
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 63,847,029
(配 当 等 相 当 額)	(4,521,625)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 68,368,654)
(H) 計 (E+F+G)	534,496,888
次 期 繰 越 損 益 金(H)	534,496,888
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 63,847,029
(配 当 等 相 当 額)	(4,526,705)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 68,373,734)
分 配 準 備 積 立 金	866,789,444
繰 越 損 益 金	△268,445,527

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（7,893,345円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（4,526,705円）および分配準備積立金（858,896,099円）より分配対象収益は871,316,149円（10,000口当たり1,136.73円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日：2020年5月11日）

（計算期間 2019年5月11日～2020年5月11日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	株 組 入 比 式 率		純 資 産 額
		騰 落 率	式 率	
(設 定 日) 2018年 6 月 12 日	円 10,000	% —	% —	百万円 20,485
1 期(2019年 5 月 10 日)	10,402	4.0	96.6	97,351
2 期(2020年 5 月 11 日)	10,478	0.7	94.3	56,348

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

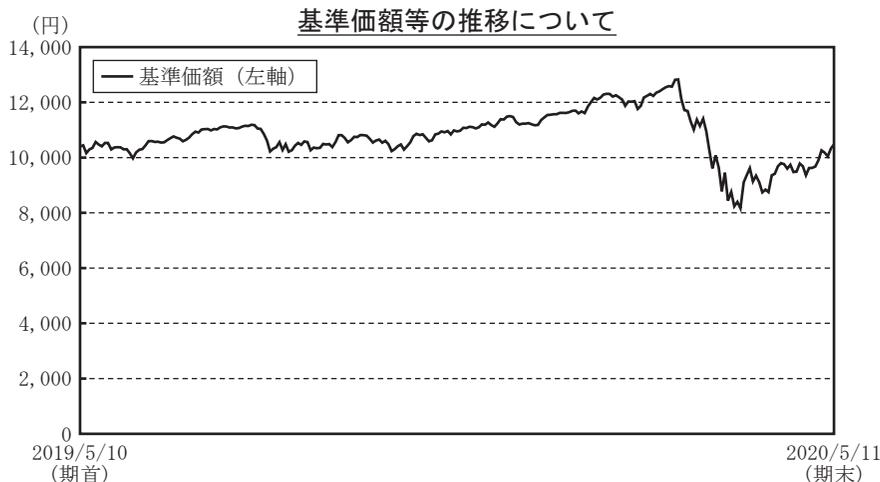
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	株 組 入 比 式 率	
		騰 落 率	式 率
(期 首) 2019年 5 月 10 日	円 10,402	% —	% 96.6
5 月 末	10,304	△ 0.9	92.6
6 月 末	10,720	3.1	94.3
7 月 末	11,051	6.2	93.4
8 月 末	10,493	0.9	93.4
9 月 末	10,539	1.3	95.2
10 月 末	10,964	5.4	94.3
11 月 末	11,501	10.6	93.4
12 月 末	11,704	12.5	94.0
2020年 1 月 末	12,041	15.8	94.1
2 月 末	11,309	8.7	94.1
3 月 末	9,346	△ 10.2	96.5
4 月 末	10,264	△ 1.3	94.9
(期 末) 2020年 5 月 11 日	10,478	0.7	94.3

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2019年11月12日～2020年5月11日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、円高がマイナス要因になったものの、主に米国、日本の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル金融市場は、変動の激しい展開となりました。5月は、米中貿易摩擦激化懸念が高まり、株式市場は急落しました。6月に米中首脳会談が行われ、米中関係に進展が見られたことを受け、株式市場は急回復を見せました。8月にトランプ大統領が対中追加関税第4弾を9月に発動すると表明したことを受け、株式市場は下落しました。しかしその後、米中協議の部分合意等を受け、S & P 500指数は史上最高値を、日経平均株価は年初来高値を更新する等、各国の株式市場は上昇基調となり、2019年は堅調のまま取引を終えました。2020年1月の後半に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、急速に世界各地へ拡大し、その経済への影響が懸念され、各国の株式市場は下落しました。3月にはWHO（世界保健機構）がパンデミックを宣言し、多くの国でロックダウン（都市封鎖）措置が取られました。これにより経済活動が大幅に制限され、グローバル株式市場は記録的な下げ相場となりました。4月には一転、米国を中心に株式市場は大きく反発しました。5月には多くの国でロックダウン措置が段階的に緩和されること、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬開発、主要中央銀行による金融緩和政策、各国政府の緊急経済政策などが株式市場を支えました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には106円台となり、ユーロ・円レートは期初の123円台から期末には116円台となりました。

当期は、前半は米中関係が悪化しリスク回避姿勢が高まると、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり円高となり、米中貿易摩擦懸念が緩和されると円安になる、というサイクルで為替が変動しました。後半は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大が世界経済へ及ぼす影響が懸念され、円に対する需要が強まり、結果として円高となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではペイパルやビザのような大型株からフィネコ・バンク、プルーフポイントなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、米国のビックデータソフトウェア会社タブロー・ソフトウェアを全売却しました。同社はセールスフォースにより大幅なプレミアムの買取価格での買取が発表されたため、利益確定のため全売却しました。また、英国のセキュリティソフトウェアを提供するソフォスを全売却し、米国のセキュリティサービス会社ゼットスケラーを組み入れました。その他、ALDやDNB銀行など、金利の変動に感応度の高い銘柄のポジションを引き下げ、Eトレード・フィナンシャルの購入を開始しました。後半は、スペインのサンタンデル銀行、南アフリカの銀行キャピテック・バンク・ホールディングスを新規に組み入れ、スイスのバンキングシステム向けソフトウェア企業テメノス、米国のクラウドアプリケーションを提供する企業ワークデイ、米国の資産運用会社ブラックロックを再び組み入れました。3月に入り、株式市場が急落した局面をとらえて割安になった英国のロンドン証券取引所を新たに組み入れました。4月には、ロックダウンの影響を強く受けるとみられる業界に顧客を多く持つ米国の決済会社フリートコア・テクノロジーズ、米国のソフトウェア企業スクエアを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8円 (8)	0.072% (0.072)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	8 (8)	0.074 (0.074)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	16	0.146	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は10,786円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2019年5月11日～2020年5月11日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 119.6	千円 892,112	千株 434.6	千円 1,769,709
	外	百株 18,911.86 (△1,225.25)	千米ドル 139,158 (△36,327)	百株 41,705.94	千米ドル 418,774
国	オーストラリア	—	千オーストラリアドル —	1,739.99	千オーストラリアドル 14,175
	香 港	4,639	千香港ドル 66,856	41,815	千香港ドル 284,240
	シンガポール	279	千シンガポールドル 666	4,835	千シンガポールドル 12,401
	イギリス	2,112.4	千英ポンド 8,199	40,640.52	千英ポンド 32,951
	スイス	891.39	千スイスフラン 13,050	76.96	千スイスフラン 1,208
	デンマーク	15.74	千デンマーククローネ 958	1,122.93	千デンマーククローネ 82,283
	ノルウェー	4,865.29	千ノルウェークローネ 76,968	12,308.31	千ノルウェークローネ 131,862
	インドネシア	695	千インドネシアルピア 2,094,911	19,592	千インドネシアルピア 60,531,151
	南アフリカ	982.45	千南アフリカランド 132,418	56.77	千南アフリカランド 8,073
	ポーランド	—	千ポーランドズロチ —	682.95	千ポーランドズロチ 3,562

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	オ ラ ン ダ	13,447.42	10,925	14,644.38	15,007
	フ ラ ン ス	5,380.4	7,346	7,301.07	23,145
	ド イ ツ	117.97	2,428	902.94	19,625
	ス ペ イ ン	31,892.57	11,808	1,574.25	585
	イ タ リ ア	13,375.59	15,274	16,470.96	17,244

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	98,093,244千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	70,634,784千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	1.38

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2019年5月11日～2020年5月11日)

銘 柄	買 付			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
STONECO LTD-A	千株 579.979	千円 1,942,143	円 3,348	PAYPAL HOLDINGS INC	千株 268.012	千円 3,324,284	円 12,403
ZSCALER INC	360.628	1,884,019	5,224	S&P GLOBAL INC	113.591	3,193,120	28,110
AMERICAN EXPRESS COMPANY	118.47	1,607,968	13,572	HDFC BANK LTD-ADR	362.004	2,899,261	8,008
TEMENOS GROUP AG-REG	89.139	1,469,441	16,484	GLOBAL PAYMENTS INC	132.335	2,496,812	18,867
VERISK ANALYTICS INC	91.779	1,453,883	15,841	FLEETCOR TECHNOLOGIES INC	90.987	2,443,730	26,858
BANCO SANTANDER SA	3,189.257	1,436,202	450	VISA INC.	121.513	2,398,401	19,737
BLACKROCK INC	23.981	1,402,483	58,483	ALLIANZ SE	90.294	2,384,732	26,410
ING GROEP NV-CVA	1,344.742	1,308,091	972	EXPERIAN PLC	629.653	2,290,309	3,637
NEXI SPA	684.879	1,083,648	1,582	SOPHOS GROUP PLC	3,434.399	2,250,445	655
WORKDAY INC-CLASS A	59.215	1,053,778	17,795	TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	118.731	2,167,662	18,256

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年5月11日～2020年5月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2019年5月11日～2020年5月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年5月11日現在）

(1) 国内株式

銘柄	前期末		当期末	
	株数	株数	評価額	
			株数	金額
	千株	千株	千円	
情報・通信業 (58.8%)				
GMOペイメントゲートウェイ	120	95	964,250	
証券・商品先物取引業 (41.2%)				
SBIホールディングス	601	312	675,168	
合計	株数・金額	722	407	1,639,418
	銘柄数<比率>	2	2	<2.9%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注2）合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

（注3）単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	柄	前期末		当期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR		1,667	714	14,377	1,537,710	小売
AMERICAN EXPRESS COMPANY		1,669	1,558	13,950	1,491,953	各種金融
BLACKLINE INC		3,124	929	5,946	636,008	ソフトウェア・サービス
BLACKROCK INC		—	212	10,582	1,131,810	各種金融
CITIGROUP INC.		2,175	1,650	7,645	817,645	銀行
ENVESTNET INC		2,351	1,300	8,701	930,602	ソフトウェア・サービス
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO		—	1,941	24,899	2,662,995	ソフトウェア・サービス
FLEETCOR TECHNOLOGIES INC		759	—	—	—	ソフトウェア・サービス
GLOBAL PAYMENTS INC		2,753	1,564	27,391	2,929,481	ソフトウェア・サービス
GUIDEWIRE SOFTWARE INC		962	624	6,075	649,749	ソフトウェア・サービス
HDFC BANK LTD-ADR		2,870	1,228	4,984	533,100	銀行
INTUIT INC		691	455	12,782	1,367,113	ソフトウェア・サービス
JPMORGAN CHASE & CO.		1,784	1,063	9,856	1,054,183	銀行
PALO ALTO NETWORKS INC		1,445	701	14,999	1,604,214	ソフトウェア・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC		4,157	2,277	33,016	3,531,148	ソフトウェア・サービス
PROOFPOINT INC		1,644	836	10,139	1,084,433	ソフトウェア・サービス
Q2 HOLDINGS INC		2,655	1,126	9,324	997,231	ソフトウェア・サービス
S&P GLOBAL INC		1,511	393	11,707	1,252,145	各種金融

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
SQUARE INC - A	2,652	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	1,187	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VERISK ANALYTICS INC	1,012	946	15,102	1,615,229	商業サービス・用品
VISA INC.	2,494	1,498	27,734	2,966,198	ソフトウェア・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	—	532	8,815	942,821	ソフトウェア・サービス
WORLDPAY INC-CLASS A	4,023	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC	—	1,842	13,634	1,458,208	ソフトウェア・サービス
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	7,574	2,969	8,500	909,113	ソフトウェア・サービス
STONECO LTD-A	—	3,654	10,270	1,098,429	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	51,172 22	30,023 23	310,439 —	33,201,526 <58.9%>
(オーストラリア)			千オーストラリア ドル		
AUSTRALIAN STOCK EXCHANGE	1,739	—	—	—	各種金融
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,739 1	— —	— —	— <—>
(香港)			千香港ドル		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	21,900	13,780	108,310	1,494,689	保険
TENCENT HOLDINGS LTD	4,327	2,275	95,140	1,312,938	メディア・娯楽
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H	49,696	22,692	64,672	892,476	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	75,923 3	38,747 3	268,123 —	3,700,104 <6.6%>
(シンガポール)			千シンガポール ドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD	13,458	8,902	17,536	1,327,020	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	13,458 1	8,902 1	17,536 —	1,327,020 <2.4%>
(イギリス)			千英ポンド		
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	—	757	5,932	788,177	各種金融
EXPERIAN PLC	8,374	3,432	8,927	1,185,961	商業サービス・用品
SOPHOS GROUP PLC	34,343	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	42,718 2	4,190 2	14,859 —	1,974,139 <3.5%>
(スイス)			千スイスフラン		
TEMENOS GROUP AG-REG	—	814	10,754	1,185,151	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	814 1銘柄	10,754 —	1,185,151 <2.1%>
(デンマーク)			千デンマーク クローネ		
SIMCORP A/S	1,107	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,107 1	— —	— —	— <—>
(ノルウェー)			千ノルウェー クローネ		
DNB ASA	7,150	6,944	82,015	856,236	銀行
SBANKEN ASA	16,167	8,929	48,757	509,029	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	23,317 2	15,874 2	130,772 —	1,365,266 <2.4%>

銘柄	株数	株数	期末		業種等		
			株数	株数		評価額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
(インドネシア)	百株	百株	千インドネシア ルピア	千円			
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	47,975	29,078	76,257,055	541,425	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	47,975 1	29,078 1	76,257,055 —	541,425 <1.0%>		
(南アフリカ)			千南アフリカ ランド				
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD	—	925	81,323	474,117	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	925 1	81,323 —	474,117 <0.8%>		
(ポーランド)			千ポーランド ズロチ				
ALIOR BANK SA	682	—	—	—	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	682 1	— —	— —	— <—>		
(オランダ)			千ユーロ				
ING GROEP NV-CVA	14,695	13,498	6,843	793,899	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,695 1	13,498 1	6,843 —	793,899 <1.4%>		
(フランス)			千ユーロ				
ALD SA	7,752	8,342	8,233	955,096	運輸		
WORLDDLINE SA	5,082	2,572	17,013	1,973,599	ソフトウェア・サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,835 2	10,914 2	25,247 —	2,928,696 <5.2%>		
(ドイツ)			千ユーロ				
ALLIANZ SE	1,327	542	8,560	993,011	保険		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,327 1	542 1	8,560 —	993,011 <1.8%>		
(スペイン)			千ユーロ				
BANCO SANTANDER SA	—	30,318	6,057	702,681	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	30,318 1	6,057 —	702,681 <1.2%>		
(イタリア)			千ユーロ				
NEXI SPA	—	5,782	8,072	936,425	ソフトウェア・サービス		
FINECOBANK SPA	21,186	12,308	11,911	1,381,775	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,186 1	18,090 2	19,984 —	2,318,201 <4.1%>		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	50,045 5	73,365 7	66,693 —	7,736,490 <13.7%>		
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	308,139 39	201,920 41	— —	51,505,241 <91.4%>		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	53,144,659	94.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,253,820	5.8
投 資 信 託 財 産 総 額	56,398,480	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(54,120,846千円)の投資信託財産総額(56,398,480千円)に対する比率は、96.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.95円、1香港ドル=13.80円、1シンガポールドル=75.67円、1英ポンド=132.85円、1スイスフラン=110.20円、1ノルウェークローネ=10.44円、100インドネシアルピア=0.71円、1南アフリカランド=5.83円、1ユーロ=116.00円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年5月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	56,398,480,786円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,744,732,234
株 式(評価額)	53,144,659,860
未 収 入 金	383,635,022
未 収 配 当 金	125,453,670
(B) 負 債	50,073,365
未 払 解 約 金	50,000,000
そ の 他 未 払 費 用	73,365
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	56,348,407,421
元 本	53,777,699,413
次 期 繰 越 損 益 金	2,570,708,008
(D) 受 益 権 総 口 数	53,777,699,413口
1万口当り基準価額(C/D)	10,478円

1. 期首元本額 93,585,077,567円
期中追加設定元本額 -円
期中一部解約元本額 39,807,378,154円
2. 1口当たりの純資産額 1.0478円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替なし) 46,355,376,624円
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替あり) 7,422,322,789円
期末元本合計 53,777,699,413円

■損益の状況

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	691,690,477円
受 取 配 当 金	649,869,628
受 取 利 息	42,519,604
そ の 他 収 益 金	11,966
支 払 利 息	△ 710,721
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,694,860,552
売 買 益	12,303,268,625
売 買 損	△ 9,608,408,073
(C) そ の 他 費 用	△ 19,402,789
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	3,367,148,240
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,766,181,614
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 4,562,621,846
(G) 計 (D+E+F)	2,570,708,008
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2,570,708,008

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。